



ぽかぽか

～ 令和3年度 介護報酬改定 ～



介護保険制度は、3年ごとに定期的に見直しが行われ、人口構造の変化や社会情勢など、時代に合わせた改定が実施されています。今回の改定は、以下の5つがポイントとなりました。

1. 感染症や災害への対応力強化

『新型コロナウイルスなどの感染症や大規模災害が発生した場合であっても利用者様が必要なサービスを受けることができるような体制をつくること』が目的です。感染症や災害に対する計画、研修を行うことが義務付けられました。

2. 地域包括ケアシステムの推進

『住み慣れた地域において、自分らしい生活を送れるように支え合うこと』を目的としています。医療や介護の連携、生活支援のあり方について見直されました。

3. 自立支援・重度化防止の取り組みの推進

『データを活用しながら、科学的に効果を分析し、質の高いサービスを目指すこと』が目的です。運動、口腔、栄養の取り組みをデータ化し、自立支援につなげるための評価が取り入れられました。

4. 介護人材の確保、介護現場の革新

深刻な課題となっている『職員の離職防止、職場環境の改善』を目的としています。サービスの向上と働きやすい職場環境を作るため、介護ロボットや情報通信機器の活用が期待されています。

5. 制度の安定性・持続可能性の確保

『必要なサービスの確保と、その適正化を図ること』が目的です。利用者様が公平にサービスを利用できるための定期的評価が取り入れられました。

現在、全国の65歳以上の高齢者は3500万人以上に到達し、3人に1人が高齢者の時代になりました。今回の改定では、この超高齢化社会において、専門職がさまざまな角度から支援する具体策が示されました。私たちも、よりよい支援を目指して精進してまいります。





相談室の仲間達



シミズ ユキコ
清水 由喜子

みなさま、初めまして。3月から医療福祉支援相談室に医療ソーシャルワーカー（MSW）として勤務しております。清水由喜子と申します。これまで主に、医療機関で受付事務に従事しておりました。医療ソーシャルワーカーとしては、遅咲きの新人です。

初めての業務内容に不安と戸惑いはありますが、先輩方の優しく丁寧な指導からたくさんのことを学び、福祉の専門職として患者様やご家族をサポートできるよう、努めていきたいと思っております。

そしていつか、「相談して良かった。」と言って頂けるソーシャルワーカーになれるよう日々精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



イガラシ アズミ
五十嵐 鮎美

みなさま、初めまして。4月より医療福祉支援相談室に介護支援専門員（CM）として勤務することになりました。五十嵐鮎美と申します。

これまでは、協和中央病院の通所リハビリで介護福祉士として約8年間、主にリハビリに来られる利用者様の介助や作業活動のお手伝いを行っていました。

両親が共働きだった為、幼少期に祖父母と過ごした経験が福祉の道へ進むきっかけとなり、専門学校卒業後から介護の仕事に携わってきました。直接援助できる今までの仕事も大好きでしたが、これからは相談援助職として、利用者様の心に寄り添った支援を心掛けていきます。

一人息子も4月から高校生になり、親子共々、新天地で頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



編集後記



海開き・山開きの便りが届く頃となりました。

今号は「介護報酬改定のポイント」と私たちの部署に新しく加わった二人の仲間の紹介を掲載しました。

今号から編集担当者が変わりました。新メンバーで、皆様に役立つ情報をお届けできるよう取り組んでまいりますので、次号もお楽しみに。

感染予防を心がけ、暑い夏を乗り切りましょう！！

（脇田・齋藤・小林・中壘）

★ ご意見・ご連絡先 ★

社会医療法人 恒貴会 協和中央病院
医療福祉支援相談室
発行責任者 池田 玲子

〒309-1195
茨城県筑西市門井1676番地1

TEL 病院代表 0296-57-6131
居宅介護支援直通 0296-57-7205
医療福祉相談直通 0296-57-7230
(休日・夜間 090-6935-3337)

FAX 0296-57-4676
URL <http://www.kyowachuo.jp>
Eメール renkei@kokikai.com

